

# 4 生活の基盤づくり

## まちづくりの目標

市民の日常の暮らしを守り維持していくことができるよう、必要なインフラ整備に努め適正に維持管理することにより『生活の基盤づくり』を進めます。

▼西九州自動車道の延伸や幹線道路の整備により安全かつ迅速な交通ネットワークの構築を図るとともに、利便性が高く、持続可能な公共交通網の構築を推進します。

▼老朽化が進む道路や上下水道などのインフラ資産や、公共建築物の効率的な維持管理を図るとともに、高齢者や障がいのある人など、すべての人が安心して生活することのできる環境の整備に努めます。

▼用途地域に基づく開発の促進や都市計画施設の整備の推進により、秩序ある都市空間の形成を図ります。

▼市民の憩いの場として快適で安全に利用できる公園施設の計画的な更新や維持管理に取り組みます。

▼低家賃で良質な市営住宅の供給に努めるとともに、住環境における多様なニーズに対応するための相談体制の整備を図るほか、増加が見込まれる空き家などについては、状況に応じて所有者に適正な管理を指導するなど、安全の確保に努めます。

### ●バス交通支援事業

8936万円  
不採算バス路線の維持や地域が行うバスの運行に要する経費を補助します。

財源 繰入金8930万円  
市6万円

### ▼暮らしづくり課



### ●道路管理事業（単独）

2億3923万円  
老朽化した道路照明灯を修繕するほか、市内全域に係る市道の維持補修などを行います。

財源 県1913万円  
市債1億160万円  
市1億1850万円

### ▼道路河川課



### ●道路・橋りよう総務事業（公開用道路台帳図データ作成業務委託料）

443万円  
【新】

道路台帳図について、閲覧者の利便性の向上を図るため、国の新しい地方経済・生活環境創生交付金を活用し、道路台帳図をデータ化し、いまりんマップに公開します。

財源 国221万円 市222万円

### ▼道路河川課



### ●空家等管理促進事業（補助）

789万円

専門家による空き家相談会の開催や、倒壊の恐れのある特定空家等の解体に要する経費を補助するとともに、空き家情報バンク制度の充実に向け、物件見学時に助言などを行う建築士の派遣、空き家の家財処分などに要する経費を補助します。また、相続放棄などにより所有者不在の特定空家等の解体設計を行います。

財源 国394万円 市395万円

### ▼都市政策課



### ●市営住宅改修事業（社会資本整備総合交付金）

1億428万円

市営住宅の長寿命化を図るため、伊万里市公営住宅等長寿命化計画に基づき、社会資本整備総合交付金を活用して、老朽化している市営住宅を改修します。

財源 国4490万円

市債5270万円 諸収入42万円  
市626万円

### ▼施設営繕課



### ●交通安全施設整備事業（単独）

2395万円

通学路などの市道で、交通事故の減少と歩行者などの安全を確保するため、交通安全施設（防護柵や区画線、反射鏡など）を設置します。

財源 市2395万円

### ▼道路河川課

